

# 衆議院外務委員会ニュース

平成 21.3.25 第 171 回国会第 4 号

3 月 25 日（水）第 4 回の委員会が開かれました。

## 1 国際情勢に関する件

- ・中曽根外務大臣、松本内閣官房副長官、伊藤外務副大臣、並木内閣府大臣政務官、坂本総務大臣政務官、岡田国土交通大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 中山 泰 秀君（自民）

- ・我が国は、外交政策を遂行する上で、国力の重要な構成要素と考えられる「戦略目標」や「国家戦略を継続する意思」を国民に明示しているか。
- ・日米韓と北朝鮮の協議が進展しない状況では、北朝鮮は我々との国交正常化を諦め、中国に門戸を開放して中国的民主化を行う可能性があるのではないか。
- ・オバマ米政権の北東アジア戦略が注目されるが、我が国も中国と台湾の関係については高い関心をもって注視していくべきではないか。

### 近 藤 昭 一君（民主）

- ・2009 年 1 月、外務省はアフガニスタンのチャグチャランに展開する地域復興チーム（PRT）に同省職員を派遣すると発表した。その後、どのように進展しているか。
- ・我が国はアフガニスタンの警察官への給与を政府開発援助（ODA）によって拠出するとの方針だが、取組の進捗状況及び当該支援策にはどのような意義があるのか。
- ・中曽根外務大臣は第 4 回アフリカ開発会議（TICAD）のフォローアップ会合で、今般の成果は本年 4 月初めに開催される金融サミットに反映させると表明したが、具体的にどのように取り組むのか。

### 武 正 公 一君（民主）

- ・2006 年 1 月、沖縄県石垣市長から衆議院外務委員長宛に固定資産の現地調査のため尖閣諸島に上陸したい旨の要請があったが、以後、政府内ではどのような検討が行われているのか。
- ・今国会に提出されている「公文書館等管理法案」の趣旨を踏まえ、外交記録公開の審査において外交史料館を積極的に活用していくべきではないか。
- ・北東アジアの安定という観点から、中国による空母保有の意図について懸念せざるをえないが、中曽根外務大臣

はどのように考えているのか。

### 松 原 仁君（民主）

- ・政府は縦割りではなく、交渉窓口を一元化して北方領土問題に取り組む必要があるのではないか。
- ・出入国カードを求めるロシアの国内法が成立した時期に、外務省はビザなし交流継続のための具体的な行動を行ったのか。
- ・択捉島に残存する日本家屋である斜那郵便局及び択捉水産会事務所が老朽化しているが、修復保存する必要があるのではないか。

### 赤 嶺 政 賢君（共産）

- ・過密状態にある石垣港（沖縄県）に米掃海艦「パトリオット」と同「ガーディアン」の入港希望に関して、外務省の認識を伺いたい。
- ・日米地位協定で米掃海艦の入港が認められると仮定した場合において、港湾管理者たる地方自治体の意向を配慮する必要があるのではないか。
- ・米軍キャンプ・ハンセンに隣接する沖縄県金武町伊芸区における流弾事件に関して、米側が事件当日に訓練を行っていた部隊名、訓練内容などの詳細を明らかにする必要があるのではないか。

### 辻 元 清 美君（社民）

- ・日本のミサイル防衛（MD）システムは中距離型弾道ミサイルへの対処が主眼で、長距離型弾道ミサイルは迎撃できないとの久間元防衛大臣の政府答弁に関して、防衛省に確認を求める。
- ・海上配備型迎撃ミサイル（SM-3）及び地对空誘導弾パトリオット（PAC-3）の実験回数及びその結果について伺いたい。
- ・今後の対処方針を決定する関係三閣僚会合（内閣官房長官、外務大臣及び防衛大臣）において、中曽根外務大臣

は北朝鮮にミサイル発射の中止を促す外交努力を行うよう主張する必要があるのではないか。